

白河の翼奇

第 7 9 号

令和5年12月31日

発行人：支部長 栗林正樹

※題字：白川仁一先生

※印刷：さとう総合印刷

「ウォーキング」

西白河副支部長 大戸 祐一



来年の1月で70歳を迎える。退職校長会の先輩の皆様からみれば、まだまだかもしれないが、以前より疲れを感じる事が多くなり、70の坂を登り切ることができるだろうか。70代、80代、90代

の先輩諸氏が、畑で野菜を育て、旅行やゴルフ等を楽しみ、生き生きと活動しているのが羨ましい限りだ。

健康で自立した生活を送りたいと思う。健康な生活を維持するためには、食事・運動・睡眠の3つが大切で、健康維持のポイントは次の4つとも言われている。

- ① 心身ともに良好な状況の維持
- ② ベジ・ファースト
- ③ 10分多めの運動
- ④ 定期健診

ストレスが少なく、生きがいを持って生活を送り、野菜を良く取り、少なくとも年一回は健診を受け、無理のない運動を習慣化すれば良いと思うがなかなか難しい。

体力維持のためには、毎日ウォーキングを行い、理想的には一日八千歩を目標としたいと考えている。しかし、今年のように猛暑が続くと、早朝のウォーキングにも取り組んだりしているが、目標達成までにはほど遠い。生来の不真面目さもあり、平均すると一日五千歩弱か。南湖の駐車場から南湖を一周して三千歩強。自宅から中田の運動公園、阿武隈川沿い、自宅に戻り約五千歩。自宅から谷津田川沿いを歩き市役所まで行き自宅までの往復で約七千歩。その他にもコースをかえ、その時の体力や気分に応じて

取り組んでいる。

時に、暑さを避け、リフレッシュや森林浴を兼ね、近県にも出かけ、その時は一万歩以上ウォーキングしたいと考えている。その中から2つのコースを紹介してみる。

1つは、黒磯にある那珂川河畔公園から、その奥にある鳥野目河川公園に向かう那珂川沿いを歩くコース。那珂川沿いに整備された遊歩道を、川の流れや那須の自然を感じながら歩くのは気持ちが良い。ウォーキングの後は、黒磯駅前に数年前に建てられた「図書館みるる」に行く。この図書館は建築的にも素晴らしく、館内は吹き抜けで広々としゆったりと読書できるスペースや、キッズコーナー、学生の自学できるスペース、カフェエリア等、どの世代もゆっくりと本を広げたくなる環境が整えられている。

2つは、日光の中禅寺湖の周辺のコース。中禅寺湖の西側の自然の中を、低公害バスを利用して、赤沼車庫停留所から小田代原を經由し西ノ湖入り口に行く。そこから、森林の中を20分程歩くと、静かで底まで透き通るような小さな湖西ノ湖に着く。西ノ湖から40分程原生林の中を歩くと中禅寺湖畔の千手ヶ浜に着き、初夏にはクリンソウが群生するという。千手ヶ浜バス停留所から赤沼車庫停留所まで、静かな森林を進み、車窓からの自然にも心が洗われる想いがする。帰り道に、中禅寺湖畔の歌ヶ浜駐車場に車を止め15分程歩き、英国大使館別荘記念公園、そしてイタリア大使館別荘記念公園に立ち寄った。明治期から昭和初期に建てられた大使館の別荘から見える中禅寺湖と山々の美しさに心が奪われた。

これからも健康維持のため楽しみながらウォーキングを続け、70の坂を登り切ろうと思う。

《おめでとうございます》

この度、富岡直先生が全国連合退職校長会より「賀詞」(満88歳)を受けられました。

趣味を生かした豊かな時間を過ごされており、たいへんお元気です。

栗林支部長、鈴木副支部長がご自宅を訪問し、全国連合退職校長会長からの賀詞状を代理でお渡ししてまいりました。

心からお祝い申し上げます。



富岡 直先生

米寿誠におめでとうございます

佐藤 正弘

この度は米寿を迎えられ誠におめでとうございます。私がお祝いの言葉を述べることができますことは大変光栄なことで嬉しく思います。

私が富岡先生にお仕えしたのは平成四年、新任教頭として勤務した表郷中学校でした。その当時の表郷中学校は駅伝の東北大会二連覇を始め、オーストラリアとの姉妹校交流など文武両道に優れた活気ある学校でした。

富岡先生は生徒や職員を第一に思い、持ち前のユーモアと優しさの中にもリーダーとしての信念と威厳を持った素晴らしい校長先生でした。常に生徒の成長を願って学校運営に取り組み、学校行事など様々な場面で生徒と楽しそうに談笑する姿が思い出されます。生徒始め周囲の誰からも好かれる校長先生でした。

また、学校便りを欠かさず発行され生徒の安全第一と村内の危険箇所を知らせる地図を作るなど学校や地域のために力を尽くされました。

職員に対しては校長室の出勤簿の上に今日の目当てを掲示して、リーダーとしてのメッセージを分かりやすく伝えてくださいました。私に対しても管理職としてどんな配慮が必要なのか、その後の仕事に生きた多くのことを教えていただきました。

その後、白河第二中学校で最後の勤務を無事終えられ、退職後は「水石会」の一員として趣味の小石を集め石盆に飾ることや、お孫さんのために特技の木工細工を生かしたおもちゃ造りなど、趣味と実益を生かした生活を送っておられます。

私事になりますが私の二人の子どもが白河二中で富岡校長先生に、奥様の郁子先生にも白河幼稚園の園長先生として大変お世話になりました。富岡先生ご夫妻には感謝しきれません。

この度の米寿をご健康で迎えられましたことを改めてお祝い申し上げますとともに、どうかこれからも奥様ともども健康に留意され、楽しい生活を送っていただきたいと心から願っております。

「現職校長との交流会開催」

7月28日、東京第一ホテル新白河に於いて開催を中止していた小中高校長と退職校長との交流会が4年ぶりに開催されました。

福島県教育庁県南教育事務所長笠原聡美様、

福島県市町村教育委員会連絡協議会西白河支会理事長芳賀祐司様を来賓に迎え、現職校長28名、退職校長32名、総勢62名が参加し久しぶりに盛大で活気のある交流の時間を持つことができました。



懇談会に先立ち、鈴木且雪副支部長より退職校長会の現状や活動等に関する説明を行い、退職校長会への理解と協力を呼びかけました。

懇談会は、学校現場の現状と課題について代表の校長先生方から講話をいただきました。

「統合の良さを生かす教育活動」

大信小学校長 仁科篤弘

統合2年目を迎え未来を担う子どもたちの健やかな成長を目指し特色ある教育活動を展開しています。

統合の成果として大信地区の幼保小中の連携が取りやすくなりました。また、早く仲良くなり、大人数を生かした学び合いが充実し授業に活気が出てきました。

今後さらなる充実をめざし、大信小学校としての学びの基礎づくり、より円滑な人間関係の構築、PTA行事の運営工夫等に重点を置いて取り組んでいきたいと思えます。



「新校舎の特色を生かした教育活動」

白河第二中学校長 小野 聡

新校舎が完成し、その特色を生かした教育活動を展開しています。学習情報センターを中心に各学習ゾーンが配置され柔軟な学習活動が可能です。

最新鋭機器を導入した特別教室ゾーン、周回ランニングができるギャラリーを備え競技別の活動場所が確保された運動ゾーン、明るく心地よい普通教室ゾーンそれぞれの特性が生かされ、生徒の主体的な活動が育まれています。

一つになった職員室をベースに教職員が一丸となって教育目標の実現に取り組んでいます。



「退職校長先生方との交流会に参加して」

白河第二小学校長 稲川 竜寿



コロナ禍が明け、先輩校長先生方と久しぶりに親しくお目にかかる機会を頂きました。私は子供時分に白河の学校で教育を受け、教職についてからも県南地区を中心に勤めてきたため、恩師やご一緒させていただいた先生方もおり、元気なお姿を拝見しお話しができたのは個人的にも幸せな思いがしました。

今年度より勤務している白二小は、学校を応援する地域性に恵まれています。また、各学年3学級あるため、教員同士が学び合える環境に恵まれています。市教委の研究指定を通して、研修や行事に前向きに取り組む頼もしい先生方の指導力をさらに高め、子ども達を成長させ中学校へ送り出さなければならないと校長の責任を感じています。

このような職場環境も一朝にできるわけではなく、伝統のなせる業であり、歴代の校長先生方に感謝し、引き継いでいく覚悟です。

今後とも皆様の一層のお力添えをよろしくお願いたします。

「背中を押されて」

東北中学校長 川口 和彦



この度、現職校長と退職校長の交流会に参加させていただき、ありがとうございました。コロナ禍でこのような機会がほとんどありませんでしたが、久しぶりに先輩方とお話することができ、温かい励ましの言葉や豊富な経験をもとにした助言に背中を押され、明日からの学校経営に立ち向かう勇気をいただきました。今の学校はいじめ・不登校の問題、特別な支援を要する生徒の増加、教職員不足、多忙化の問題など、課題が山積しており、私も日々頭を悩ませながら学校運営を行っている一人です。しかし、先輩方とお話しする中で、先輩方もその時々課題に奮闘し、乗り越えられてきたことに気づかされ、私もまだまだ先輩方には遠く及ばないと感じさせられました。

次回、また交流会でお会いできることを楽しみに、それを励みにして、これからの学校の姿を考えながら、日々の努力を積み重ねていきたいと思えます。

「新潟への親睦旅行お出かけ記」

野口 意千朗

10月17・18日の両日、車窓から例年より遅めの紅葉を眺めながらの新潟方面親睦旅行は、好天にも恵まれ、心に残る本当に楽しい旅となりました。

第1日目は、新潟駅周辺で酒蔵見学と新潟全銘柄の酎酒。今回は貸し切りバス利用ということもあり、まだ昼食前だというのに皆さんの顔はすでに真っ赤。折りしもこの日は、国際クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」の新潟寄港と重なり、駅前には、乗船客や地元の対応スタッフの方々が国際色豊かに賑わっていて、旅の情緒が一気に高まりました。



酒蔵見学（今代司酒造）

旅館到着後の夕食会場でも、地酒の「越乃寒梅・八海山・八張鶴・高千代・かたふね」を堪能し、ご厚情いただいたお酒も相まって、もうこれ以上はないという至福のひとつときを過ごさせていただきました。宿泊部屋での二次会は、酔いも佳境に入ると、談義は定番の「旅行・老後」の話となり、高らかな笑い声が深夜まで響きわたっていました。

第2日目は弥彦山頂上へ。クライミングカー降車後は、きつい上り階段と坂道が20分ほど続いたことで、携帯していた私の心拍計は、い



弥彦山頂上（奥の宮）

きなり150オーバーのレッドゾーンに。

それでも佐渡島や能登半島を遠くに眺めながらの散策は爽快そのもので、心地よい汗とともに前日からの酔いが一気に吹き飛びました。ふもとの彌彦神社では、ほんのわずかのお賽銭で壮大な願い事をしてしまい、神様は、きっと聞き入れてくれないだろうかと心配に……。寺泊で昼食・ショッピングのあとは燕三条に立ち寄り、帰路となりました。

無事帰宅してからは、寺泊でちょっと奮発して購入した魚を、さっそく塩焼きにしてもらい、旅の復命報告をしながらおいしくいただきました。今回、参加された皆さんは、地酒・海産物の購入はもちろんのこと、ご家族のためのキッチン用品、それに可愛いお孫さんのためにも……。という方もいらっしゃるにして、帰りのバス車内は足の置き場も無いほどのお土産で溢れかえっていましたが、その分、今回の親睦旅行は、あとの余韻がいつまでも心に残る素晴らしい体験となりました。支部長さんをはじめ担当の皆さんには、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



彌彦神社参拝

《ご冥福をお祈り申し上げます》

中畑 満 先生 令和5年 8月27日ご逝去
佐久間陸夫先生 令和5年11月16日ご逝去

《編集後記》

現職校長先生との交流会や親睦旅行が開催されコロナ前の良い雰囲気が戻ってきました。来年はさらに良い年になりますように。

広報係